

子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業

野鳥観察と巣箱づくり

和歌山地区・地区委員 岡田和久・指導者グループ代表 岡田和久

【事業のポイント】

- 野鳥の巣箱を外し、どんな巣を作っていたか観察
- 森を歩き、冬の里山の野鳥を観察
- 自分で巣箱を作り、自分で選んだ木に架ける
- 来春、自分の架けた巣箱に野鳥が入るかを観察することで、森とのつながりを継続させる



巣箱取り外し

1. 事業の趣旨

(1) 趣旨

巣箱の中にどんな野鳥がどんな巣を作るのかを観察するとともに、ビオトープとして様々な生物が利用する巣箱を通して森の生物の営みについて考える。
また、自分で巣箱を作り、自分で選んだ木にそれを架けることにより、来春、どんな野鳥がこれを利用するのか観察しに来る動機づけを行い、森とその子のつながりを作る。

2. 実施概要

(1) 構成団体(運営体制)

日本森林インストラクター協会関西支部の中で、泉南及び和歌山地域在住メンバー7名により実施

(2) 開催実績

月日	場所	参加者数	日帰り・宿泊	経費	主な活動
11月7日	根来山げんきの森	9	日帰り		巣箱づくりと野鳥観察
/					
/					
/					
/					

※必要に応じて枠を広げたり、行を増やしたりするなどして記載してください。

(3)具体的な取組の概要

- 野鳥観察
- 巣箱の取り外しと内部観察
- 巣箱づくり
- 巣箱架け

3. 成果と課題

(1) 事業の成果と課題

- 巣箱の中にシジュウカラやヤマガラがたくさんのコケを集めて美しい巣を作っているのを見て、野鳥が小さなくちばしでこれだけのものを作り上げるのだと、子供たちは驚きを感じていた。
- 巣箱の中には、ネズミにかじられて穴が開いた卵や巣立ちできずにミイラになっていたヒナなどもあり、それらは、自然界で生きることの厳しさについて語る素材となった。
- 巣箱の中では、コガタスズメバチの巣やサシガメ、アシダカグモ、ニホンヤモリなどの越冬個体も観察でき、森に生きる様々な生き物について考える機会となった。
- 自分で巣箱を組み立て、森の野鳥たちの子育ての場を提供できたことで、自分が野鳥たちのためになることを成し遂げたという達成感を味わってもらえた。
- 自分で選んだ木に巣箱を設置することで、来春、野鳥が利用してくれることを期待して、彼らがまたこの森を訪れる動機づけを行うことができた。

4. 団体プロフィール

写真

